

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民の方々ともっと深いつながりが必要である。	地域の方々が気楽に出入りできる施設を目指す。(利用者のあるがままの姿をボランティアに受け入れてもらえる体制づくり。)	① 福祉関係団体と連携を図り、地域密着サービスの事業説明の機会を確保する。 ② 校区小学校の社会見学先として、高学年児童の受け入れを行う。	12 か月
2	3	地域唯一の地域密着サービス事業所として実践を通じて積み上げてきた認知症介護のノウハウを地域に向け発信できていない。	事業所の持つ認知症ケアのノウハウを、地域に還元することにより社会的信頼性を高める	① 地域密着型サービス事業所として地域に寄与するため、キャラバン・メート養成研修を受講する。 ② 認知症ケアの事例をデータ化することによりノウハウを蓄積、共有する。 ③ 地域の求めに応じスタッフを派遣し、ノウハウを提供する。	12 か月
3	10	隔月で家族会を開催しているが、参加家族が限られているため。サービス基準の具体的説明や全家族の意見や要望等を聴取する機会となっていない。	全家族に対し意見聴取する機会を設け、家族との信頼関係をの構築に努める	① 家族アンケートを実施する。 ② 家族アンケート内容の精査による業務点検の実施と改善を図る。	12 か月
4	28	入居者のニーズに対応できる柔軟なサービスの多機能化を進める。	入居者の身体状態に応じた日常生活が送れ、その人らしい生活のできる柔軟なサービス体制づくり	① 前年度に開始した、入居者による幼稚園の草引きボランティアを継続実施する。(4月～10月) ② 公共施設(バターゴルフ場、図書館、温泉施設等)の利用を促進する。	12 か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。